



高橋 安中 市のぶ

後援会ニュース

2011. 4月

発行
高橋よしのぶ後援会

安中市岩井970-4
Tel 027-381-1910

この度の東北地方太平洋沖地震において被災されました方々にお見舞いを申し上げます。
被災地の一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

私の思い



昨年、私は約15年間にわたる議員活動にピリオドを打ち、安中の新しい道を切り開く事にチャレンジいたしました。今一歩で叶いませんでした。

その後、今までの活動で安中を住みやすくできたのか・・・、みんなのために仕事が出来たのか・・・、また、これからどんな道を選択していくのか・・・等々、立ち止まって自分自身を見つめなおすことになりました。

そして、議員という立場を離れ、改めて安中市を見回すと、みんなの声を市政に届けることの出来ない「もどかしい自分」がいました。

一年間、たくさんの方と出会い、お話を伺う中で、“私はこのままでは終われない” “立ち止まったままではいけない” という思いが日に日に強くなっていきました。

「変わるのを待つのではなく、より良く変えたい！」

これからの街づくりの責任をしっかりと担う覚悟で再度、挑戦します。

精一杯頑張りますので、ぜひ皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

高橋よしのぶ

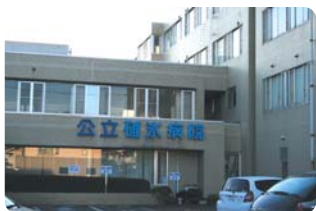
高橋よしのぶが取り組みたいこと

★ ひとりひとりの声をしっかり市政へ届ける事

- 市内の施設を見直し、より一層のバリアフリー化を目指します
- 高齢者の見守りや買い物支援「ふれあいの場」づくり等、生活支援体制の強化

- 交通弱者対策、デマンド型乗り合いバスの早期実現に向けた取り組み

- 公立碓氷病院の改革



- 地産地消の推進
- 防災施設の誘致・自主防災組織の設置
- 中・小零細企業、商店を元気にする街づくり



- 安中の未来を担う子ども達を育む取り組み（図書館の充実、教育環境の整備）

- 学童クラブの充実、支援
- 病後児保育の充実



★ 市政に対ししっかりと意見を言う事

- より開かれた議会を目指します
- 議会の様子を議場に
行かなくても見られるように
(インターネット中継や
庁舎内モニター中継等)



- 一般質問をより判りやすくするため、一問一答制を目指します

★ 自分たちの「街づくり」に責任を持つ事

- 里山整備と遊休農地の活用
- 有害鳥獣対策の強化
- 文化財、史跡の保護及び観光資源の発掘



- 廃棄物処分場に対する総量規制等を県、国に積極的に働きかけ、安中の豊かな自然を守り活用する



～みんなの夢や思いを束ね～

☆ みんなでまちづくり ☆



「街づくり」にとって一番大切なのは、そこに暮らす、ひとりひとりの思いや夢です。

道路や建物をつくるのも政治
弱者にやさしい安中をつくるのも政治
子供からお年寄りまでが安心して
暮らせる安中をつくるのも政治
そして安中の豊かな自然を未来へつなぎ
活用するのも政治です。



だからこそ、どんな小さな声にも耳を傾け市政に反映していきます。

みんなの思いや夢を束ね、一緒に創りましょう！ 私たちの「あんなか」 高橋よしのぶ

皆様から寄せられた声（主なもの）

- 「安中のまちづくりはみんなで」大賛成です。
高齢化の社会を考えてください。
- 高齢化の見守り体制を速急に
- 荒れた里山や休耕地の利用を考えてほしい。
- 公立碓氷病院を速急に改革してほしい。
- 現在の厳しい社会情勢において、「もったいない」精神を
大切にしたフリーマーケットをぜひ再開してほしい。
- 市民の目線で行政を行えば安中市は変えられます。
- 碓氷関所の国指定に力を入れ、復元してほしい。
- 災害に対する危機管理をきちんとしてほしい。
- 安中高校跡地を低所得の人でも入れる老人ホームに。
- 弱者や障がい者にとって生活しやすい街に。
- 安中高校跡地を防災拠点として整備する。
- 若い世代の人たちが参加できる市政に。
- 自然豊かな「ふる里」をゴミの町にしないでほしい。
これ以上の産廃はいりません！
- 子供たち、私たちの未来の為にがんばってください。
- 子育て支援や夜間や休日の診療体制を作ってください。
- 一般質問を通じ私たちの声をどんどん市政に届けてください。

これからもご意見ご要望をお聞かせください

事務所開設のお知らせ

（節電のため、通常照明となっておりますので、ご了承ください）

お近くにお越しの際はお立ち寄りください。

ご案内

- 事務所開き：4月17日（日） 午後6：00～
- 決起集会：4月22日（金） 午後6：00～

高橋よしのぶ後援会事務所 安中市岩井970-4 TEL 381-1910



被災地へ送らせていただきました

私が長年携わってまいりました「フリーマーケットin あんなか」運営委員会では、もったいない市（バザーコーナー）にご寄付いただいた品物を現在まで保管しておりましたが、今回の震災にあたり、皆様の善意の品物を被災地に送る決定をいたしました。

私も荷造り作業を行い、3月16日にNPO団体を通じ、発送され、17日には現地に到着しました。被災された皆様には大変喜ばれたと報告が入っております。

ご協力ありがとうございました



トラックに荷を積み込みました